

豊山町民の交通実態に関するアンケート調査結果

豊山町地域公共交通会議

【アンケート調査の概要】

| | |
|---------|-------------------------------|
| 配布・回収時期 | 平成22年10月22日～10月31日 |
| 配布方法 | 郵送配布 |
| 回収方法 | 郵送回収 |
| 方式 | 多肢選択式を基本に一部自由記入 |
| 調査対象 | 豊山町民から住民基本台帳を用いて無作為抽出 |
| 配布数 | 2979部(3000部配布したが、21部は宛先不明で返送) |
| 調査実施機関 | 名古屋大学 |
| 回収率 | 45.1%(1345部) |

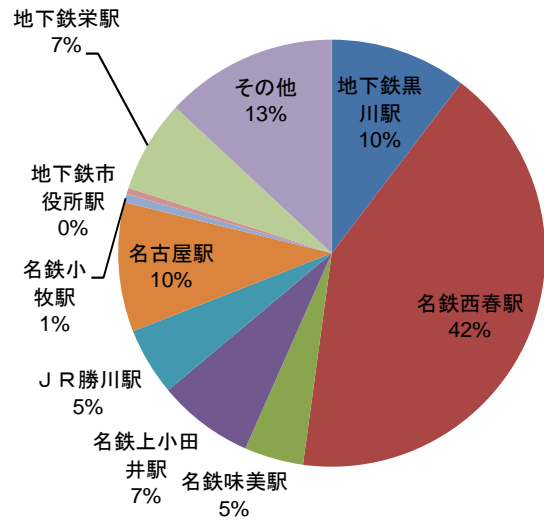
【アンケート用紙】

別紙参照

問1. あなたの普段の移動状況についてお尋ねします

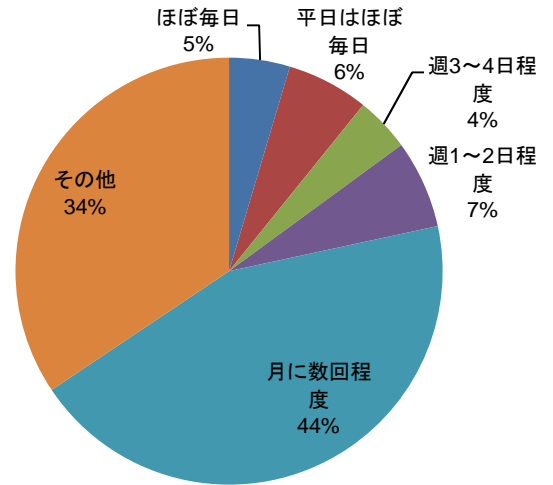
① 普段利用する駅とアクセスの状況

行き先 N= 1072



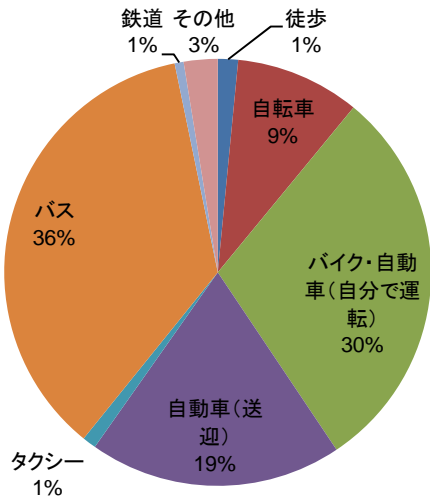
もっとも利用する駅は名鉄西春駅が最も多く、42%を占めている。それに次ぐのは地下鉄黒川駅ならびに名古屋駅でそれぞれ10%となっている。

頻度 N= 1064



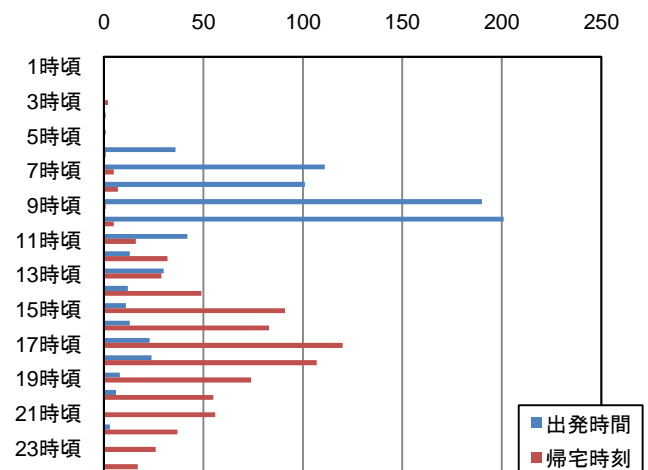
駅の利用頻度は月に数回程度が44%と最も多く、日常的に駅を利用している町民はあまりいないことが伺える。

交通手段 N= 1049



駅までのアクセス手段としてはバスが36%と最も多いが、バイク・自動車(自分で運転)も30%と同程度である。また、自動車(送迎)を入れると、自動車によるアクセスが49%と最も多くなる。

自宅出発時間と帰宅時間 出発 N=826 帰宅 N=813



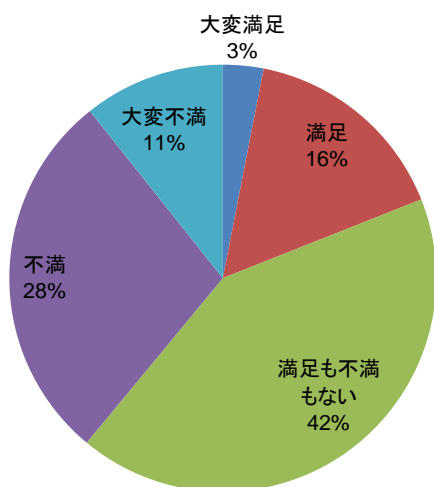
出発時間帯としては9~10時頃が最も多く、帰宅時間帯は17時台をピークにするものの14~21時頃に分散する傾向にある。

問1. あなたの普段の移動状況についてお尋ねします

① 普段利用する駅とアクセスの状況

満足度

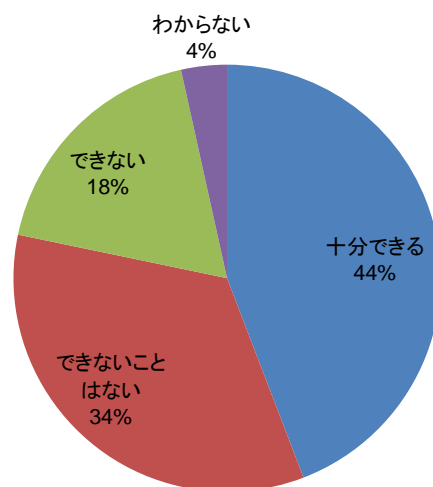
N= 974



大変満足が3%、満足が16%となっているのに対し、大変不満が11%、不満が28%となっており、駅までの移動に不満を持っている人の方が多い傾向にある。

徒歩+バスのみで到達可か

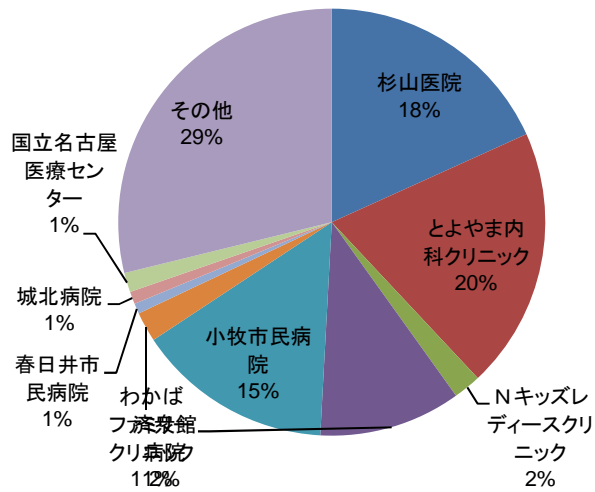
N= 985



十分できるが44%、できないことはないが34%となっており、合わせて78%の人が駅まで徒歩+バスでアクセスすることができる。一方で、できないと回答している人も18%存在している。

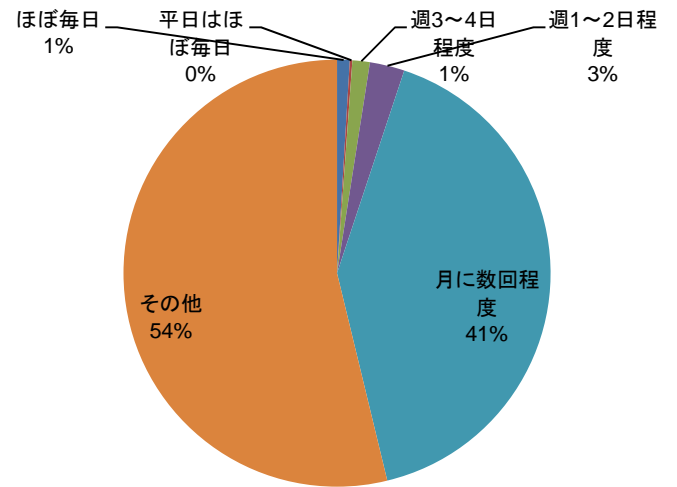
問1. あなたの普段の移動状況についてお尋ねします
 ② 普段利用する病院とアクセスの状況

行き先 N= 1152



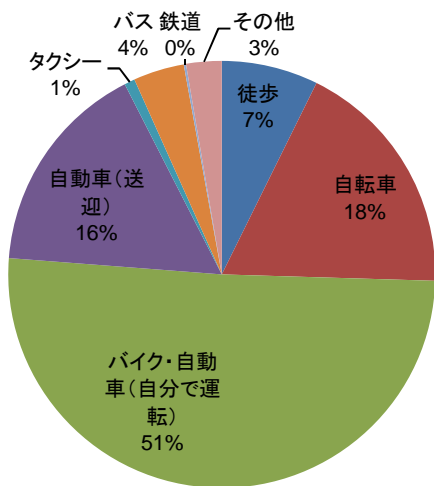
もっとも利用されている病院は豊山内科クリニックであり20%、それに杉山医院18%、小牧市民病院15%が続く。

頻度 N= 1138



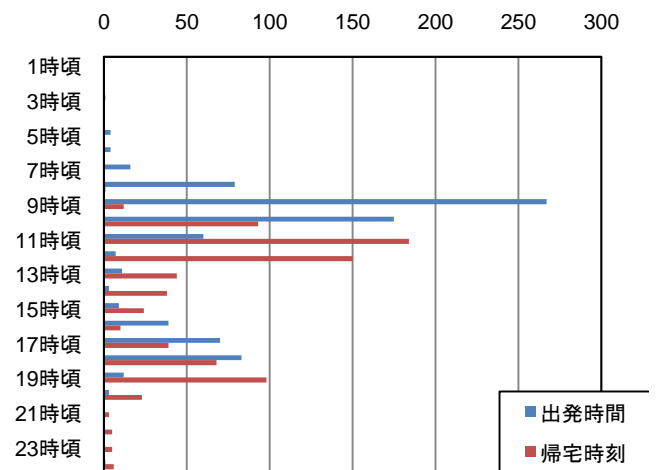
通院の頻度は月に数回程度が41%と最も多い。

交通手段 N= 1119



通院の手段はバイク・自動車(自分で運転)が51%と最も多く、自転車18%、自動車(送迎)16%が続いており、公共交通による通院はあまりなされていない。

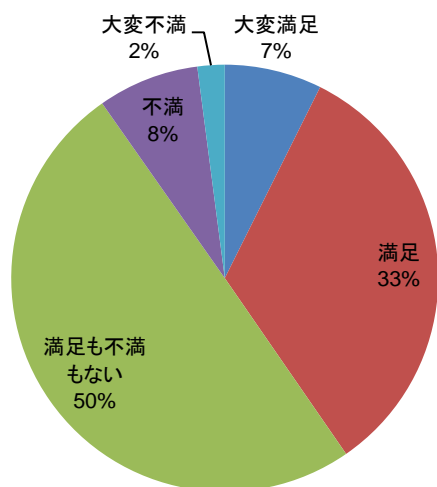
自宅出発時間と帰宅時間 出発 N=844 帰宅 N=803



通院の際の出発時間は9時台が突出しており、9時台、7時台が続く。また、16~18時頃に出発する数もある程度存在している。帰宅時間は午前中10~12時頃と、夕方17~19時頃にピークが存在する。

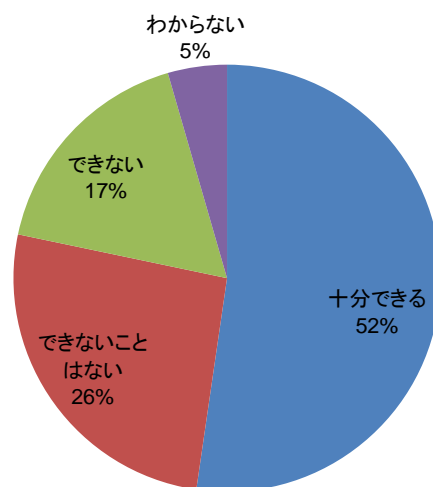
問1. あなたの普段の移動状況についてお尋ねします
② 普段利用する病院とアクセスの状況

満足度 N= 1018



満足も不満もないという回答が50%で最も多いほか、満足が33%、大変満足7%となっており、不満・大変不満という回答は少数であった。

徒歩+バスのみで到達可か N= 1004

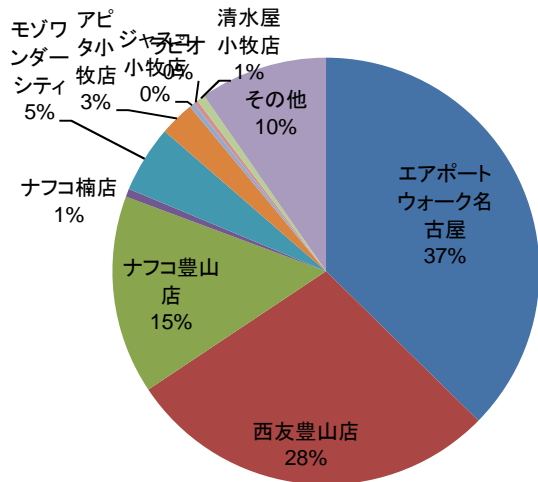


十分できるが52%、できないことはないが26%となっており、合わせて78%を占めるが、できないと回答した人も17%存在している。

問1. あなたの普段の移動状況についてお尋ねします

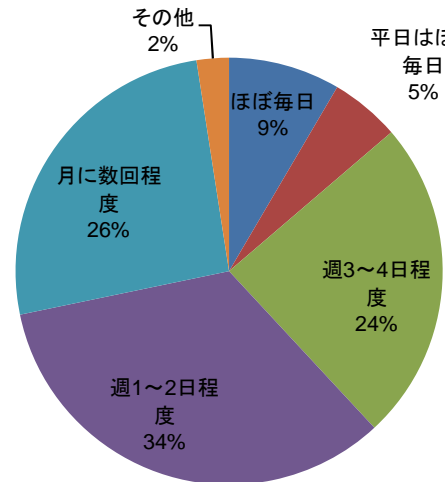
③ 普段の買い物とアクセスの状況

行き先 N= 1138



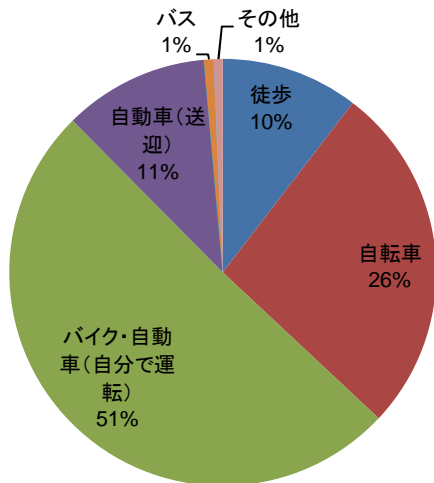
エアポートウォーク名古屋が37%、西友豊山店が28%、ナフコ豊山店が15%であり、合わせて80%が町内で普段買い物をしていることが分かる。

頻度 N= 1231



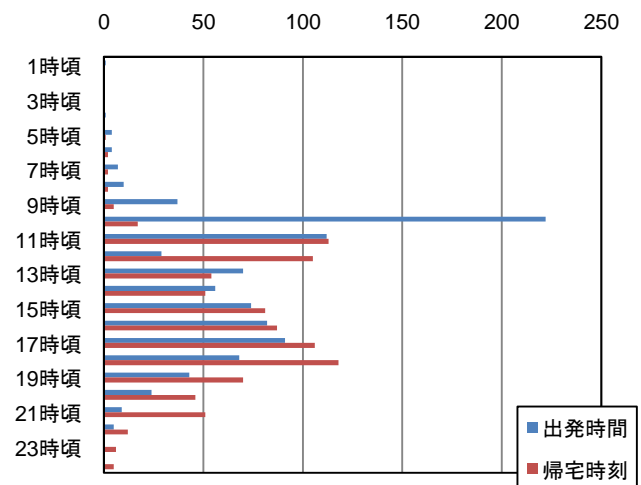
週1~2日程度が34%、週3~4日程度が24%であり、合わせて6割程度である。

交通手段 N= 1201



51%がバイク・自動車(自分で運転)で占められており、送迎を合わせると62%が自動車によって買い物をしている。また、自転車も26%で大きな割合を占めている。

自宅出発時間と帰宅時間 N=949 (出発) N=934 (帰宅)



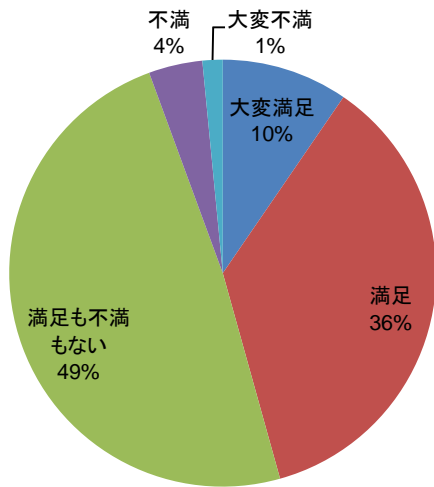
10時頃に出発するという回答が突出しているほか、11時・17時・16時15時頃に出発するという回答が続いている。帰宅は11時・12時・17時・18時頃が同程度あるほか、午後の15~19時頃に広く分散している。

問1. あなたの普段の移動状況についてお尋ねします

③ 普段の買い物とアクセスの状況

満足度

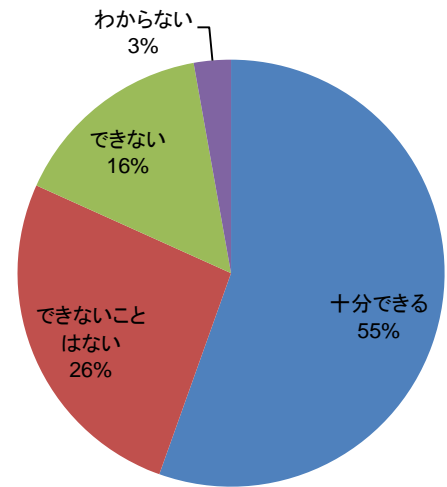
N= 1108



不満・大変不満という回答は合わせても5%となっており、買い物に対する移動に関する不満はあまりない。多くが徒歩・自転車・自動車によって移動可能な範囲で買い物をしているためと考えられる。

徒歩+バスのみで到達可か

N= 1073

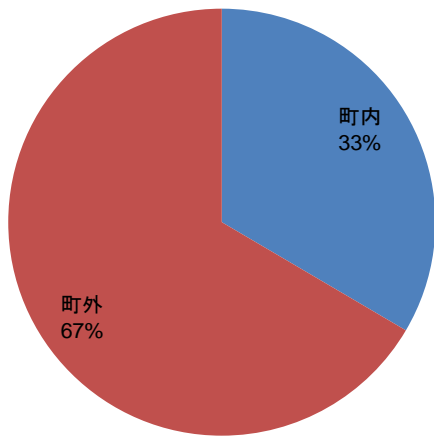


十分できる・できないことはないという回答が合わせて81%存在している。町域が狭く、買い物施設も複数存在していることから、徒歩のみでもアクセス可能であることがこの理由として考えられる。一方で、できないという回答も16%存在している。

問1. あなたの普段の移動状況についてお尋ねします

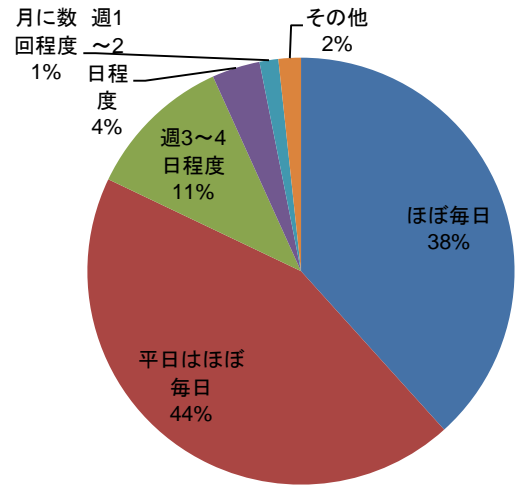
④ 通勤・通学の状況

行き先 N= 783



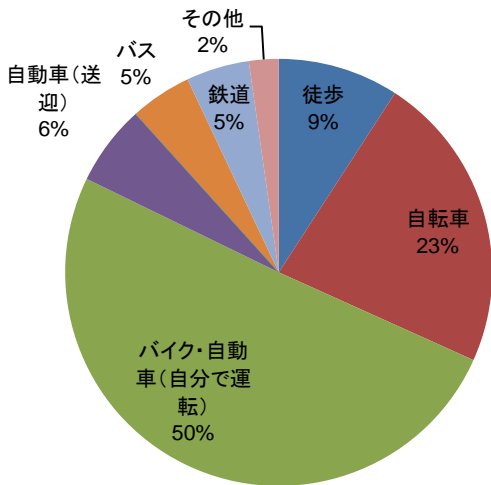
町外が67%であり、町内の約2倍の人が町外に通勤・通学していることがわかる。

頻度 N= 770



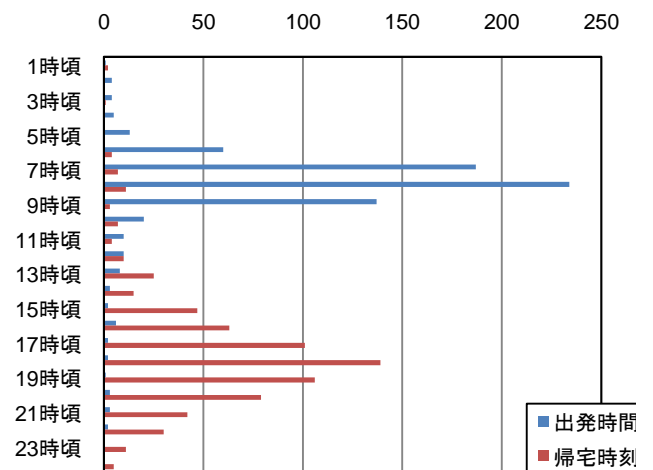
通勤・通学の頻度はほぼ毎日・平日はほぼ毎日が合わせて82%である。

交通手段 N= 753



通勤・通学の手段においてもバイク・自動車(自分で運転)がもっとも多く、50%となっている。バス・鉄道といった公共交通機関は合わせて10%程度である。

自宅出発時間と帰宅時間 出発 帰宅 N=717 N=712



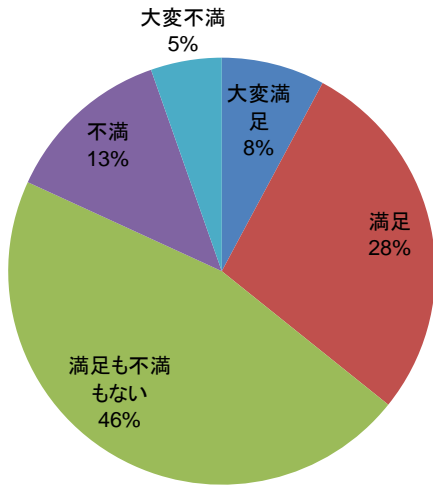
出発時間は7時頃がもっとも多く、帰宅時間は15~21時頃に分散する傾向にある。

問1. あなたの普段の移動状況についてお尋ねします

④ 通勤・通学の状況

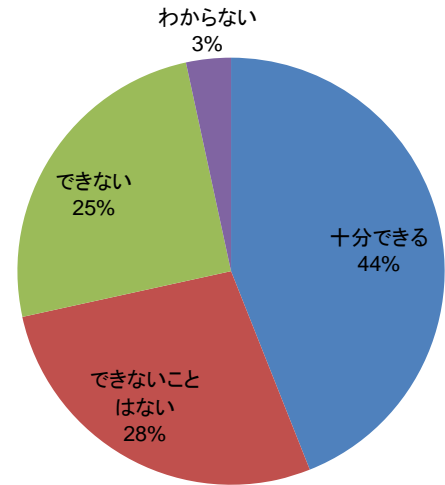
満足度

N= 727



徒歩+バスのみで到達可か

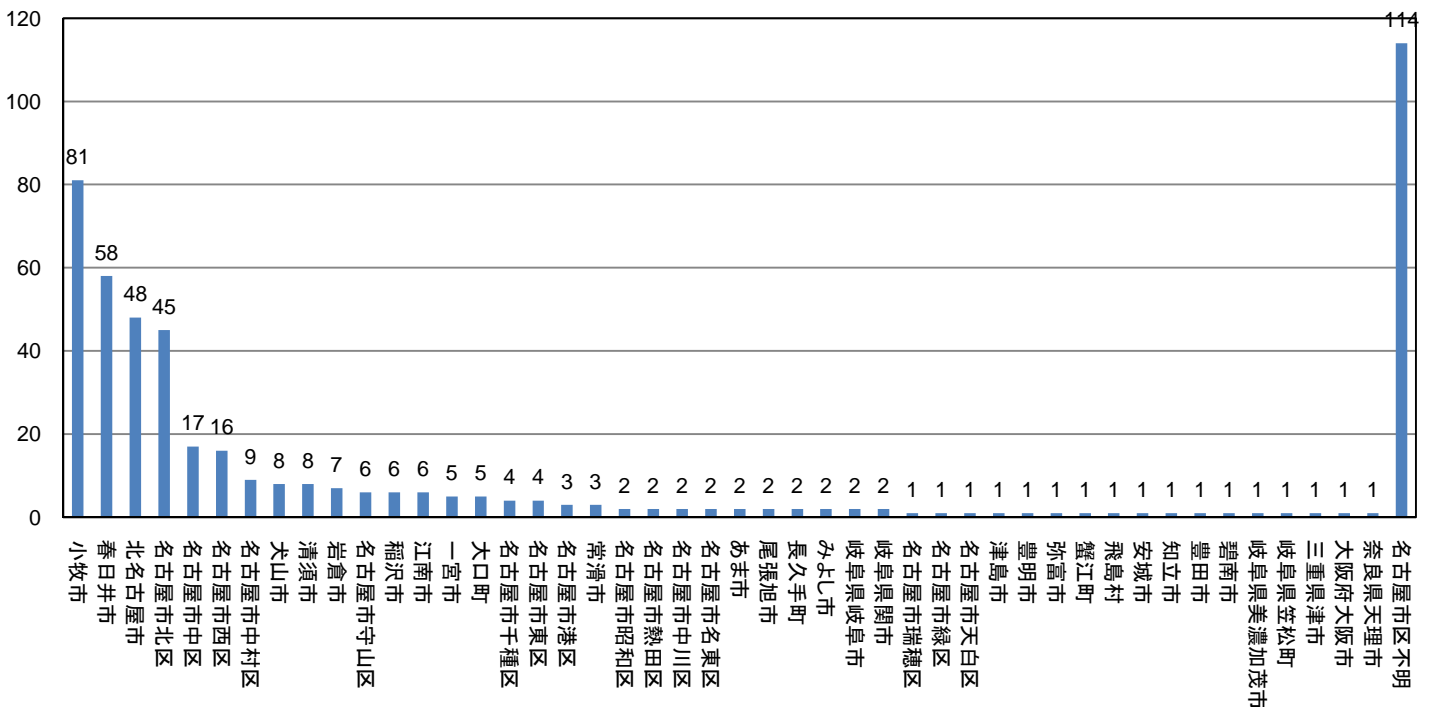
N= 707



満足も不満もないという回答が48%と約半数を占めているが、不満よりも満足という回答の方が多く、通勤・通学の移動に対する不満は少ない。

十分できる・できないことはないを合わせて72%となっているが、できないという回答も25%存在している。

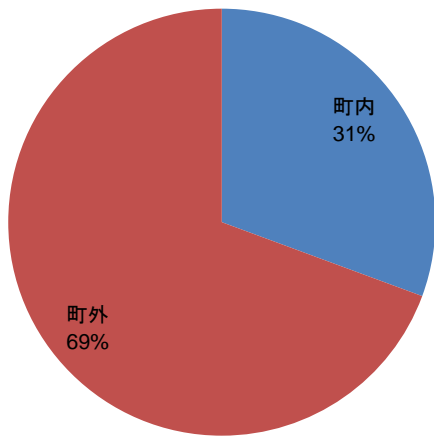
通勤・通学先で「町外」を選択していた場合の行き先市町村



名古屋市・小牧市・春日井市・北名古屋市といった隣接する市に通勤・通学している人が多い。そのほか、尾張地方を中心に愛知県内各所への通勤が見られるほか、他府県への通勤・通学も少ないながらみられる。

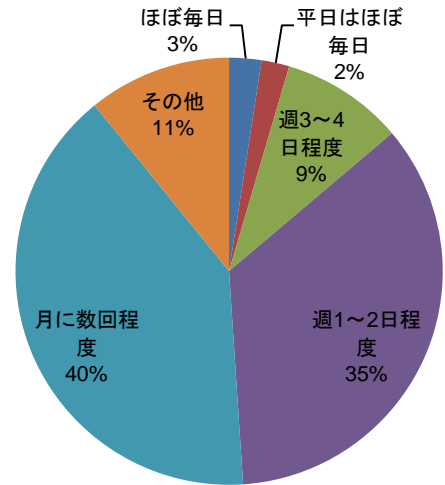
問1. あなたの普段の移動状況についてお尋ねします
 ⑤ その他の移動の状況

行き先 N= 568



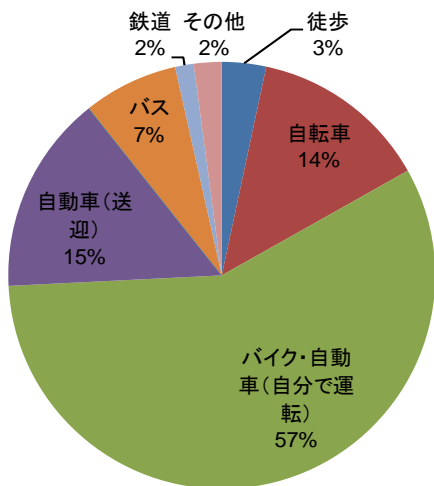
上記以外の目的での外出については、町内が31%、町外が69%となっている。

頻度 N= 572



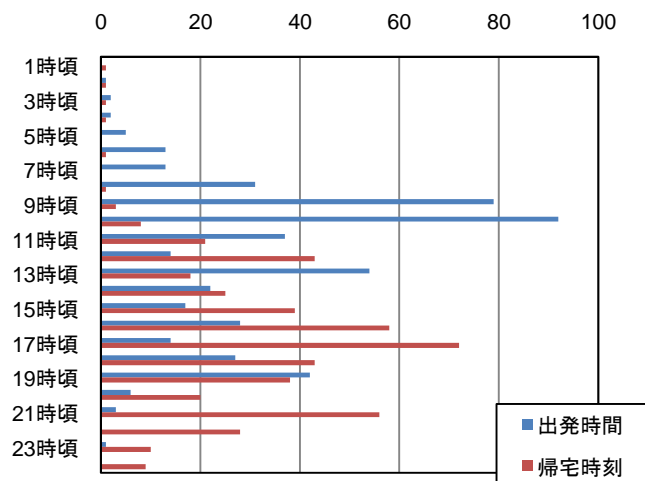
頻度は月に数回程度が40%、週に1~2に程度が35%となっており、日常的な外出ではないことが分かる。

交通手段 N= 570



移動手段はバイク・自動車(自分で運転)が57%とここでも最も多くを占めている。

自宅出発時間と帰宅時間 出発 帰宅 N=503 N=497



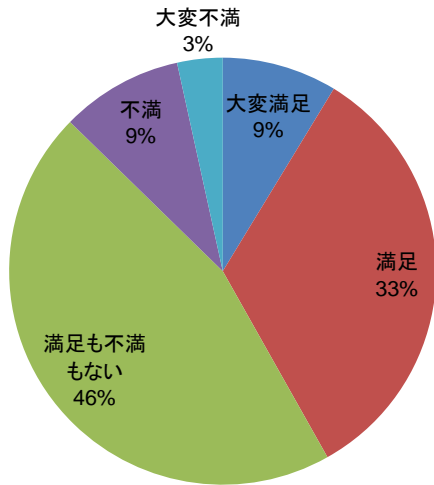
出発時間は10時頃・9時頃・13時頃が突出しており、帰宅時間は17時頃・16時頃・21時頃という回答が多くなっている。

問1. あなたの普段の移動状況についてお尋ねします

⑤ その他の移動の状況

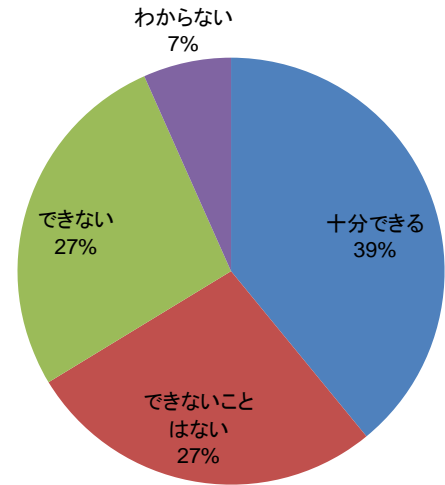
満足度

N= 552



徒歩+バスのみで到達可か

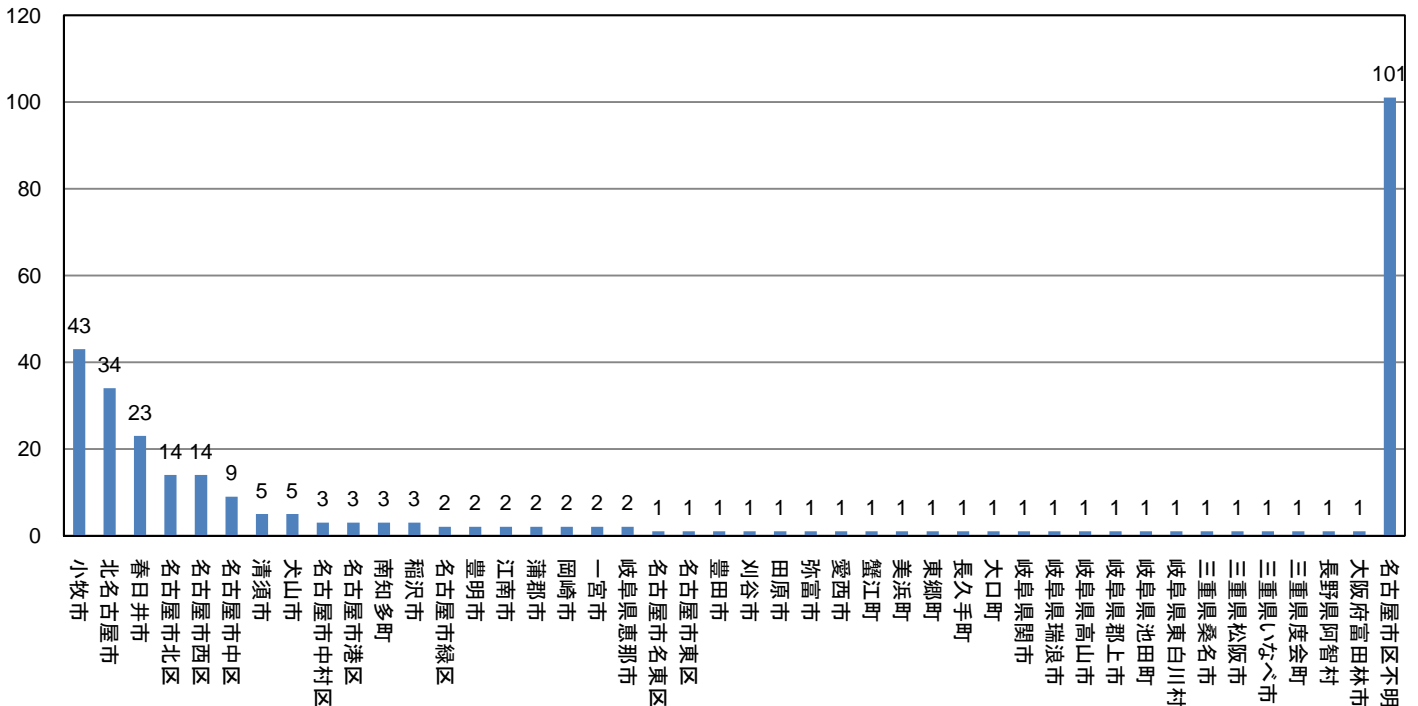
N= 540



移動の満足度については、不満・大変不満という回答は合わせて10%であり、あまり不満に感じている人は少ないことが分かる。

十分できる・できないことはないという回答が合わせて66%となっているが、できないという回答も27%存在している。

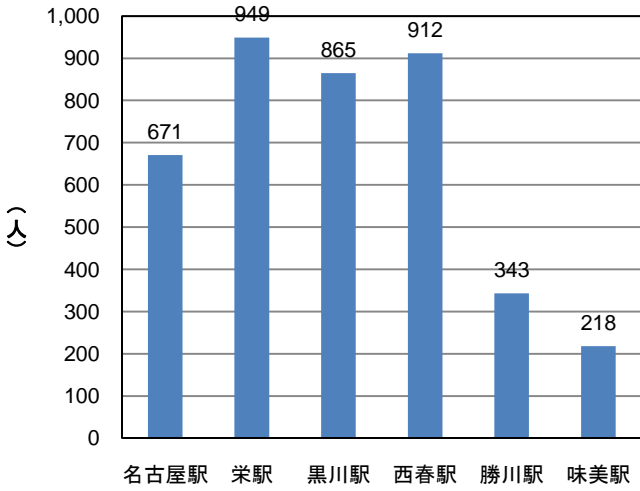
その他の行き先で「町外」を選択していた場合の行き先市町村



名古屋市・小牧市・北名古屋市・春日井市といった隣接する市に移動している人が多い。全体的に通気・通学同様、尾張地方を中心とする愛知県内各所への移動が見られるが、他府県への移動も少ないながらみられる。

問2. 路線バスについてお尋ねします

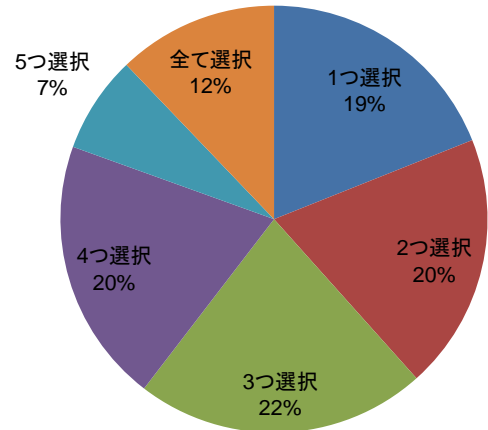
直接行けると思う駅



勝川駅・味美駅へアクセス可能であるという認知度が低いほか、名古屋駅へアクセス可能であることについても回答者の約半数しか認識していないことが分かった。一方、栄駅・黒川駅へアクセス可能なことについては多く認識されており、タウンバスの行き先が町民にある程度浸透していることが見て取れる。

選択した駅数

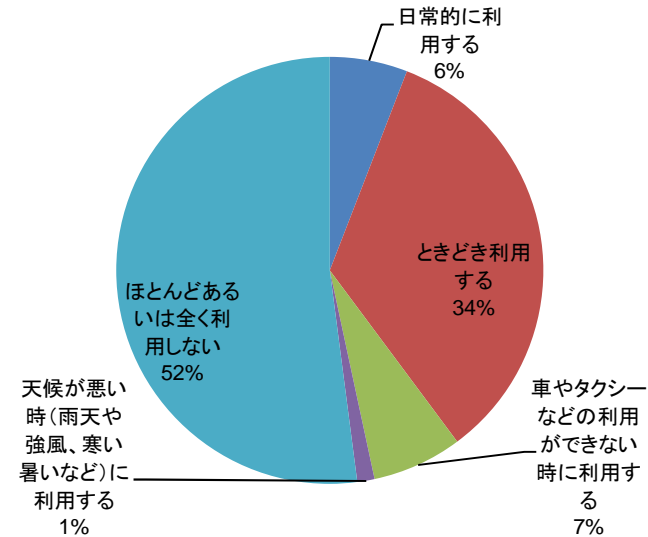
N= 1261



全て選択した人は12%に過ぎず、それ以外の人については豊山町内から6鉄道駅全てアクセスできるということが認識されていない。1駅しか選択していない人も19%存在しており、バスによる鉄道駅アクセス利便性についての認識があまりされていないことが推察できる。

利用する場合

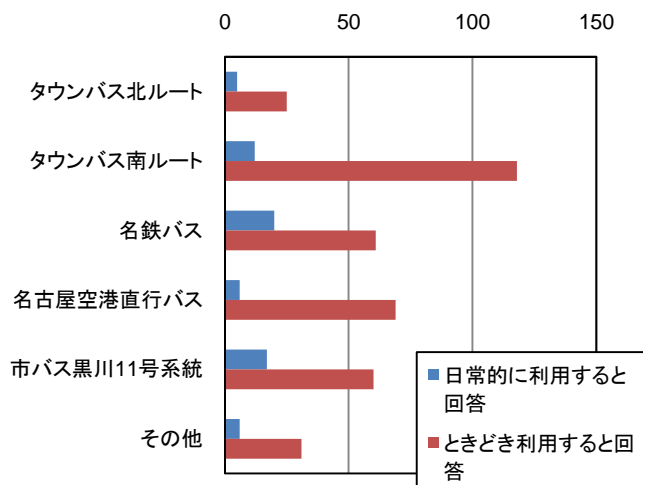
N= 1291



バスを日常的に利用すると答えた人は6%に過ぎず、ほとんどあるいは全く利用しないという回答が半数以上を占めた。

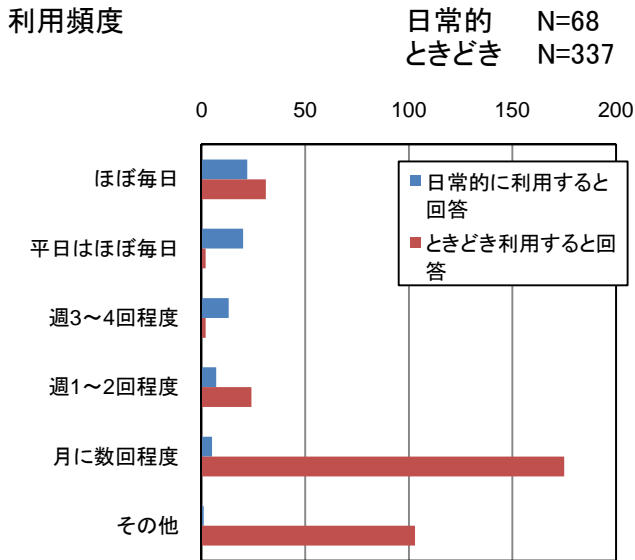
利用するバス

日常的
ときどき
N=66
N=364

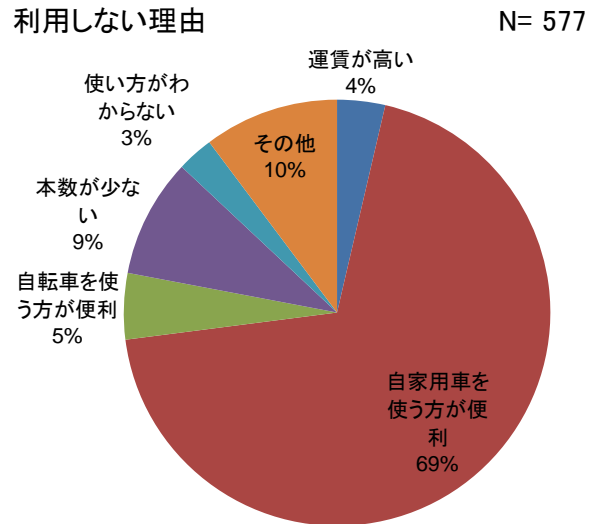


日常的に利用すると回答した人の中でもっとも利用が多いのが名鉄バス西春空港線であり、市バス黒川11号系統が続く。一方、ときどき利用すると回答した人の中でもっとも利用が多いのはタウンバス南ルートであり、レジャーなど名古屋都心部への非日常的移動の際にタウンバス南ルートを利用する人が多いことが推察できる。

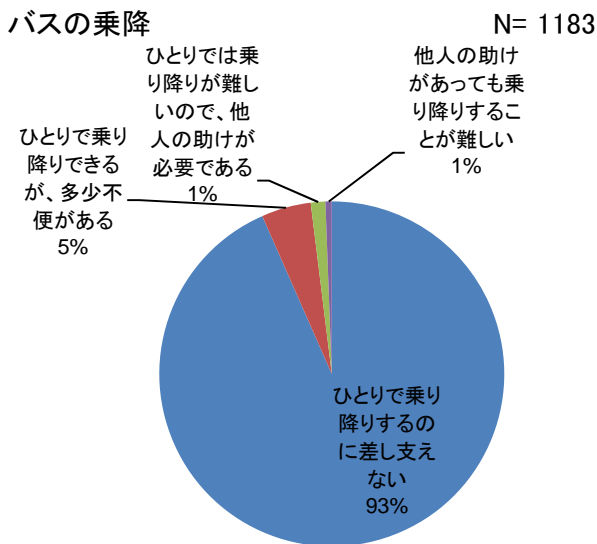
問2. 路線バスについてお尋ねします



日常的に利用すると回答した人は、ほぼ毎日・平日はほぼ毎日という答えが多く、通勤・通学などの日常的に反復する移動にバスを用いていることが推察される。一方、ときどき利用すると回答した人は、月に数回程度という回答が最も多い。



バスを利用しない理由としては、自家用車を使う方が便利という回答が69%を占めている。



バスの乗降については、93%の人がひとりで乗り降りするのに差し支えないと回答しているが、他人の助けがあっても乗り降りすることが難しいという回答が1%、一人では乗り降りするのが難しいので、他人の助けが必要であるという回答も1%存在しており、バスを利用したくてもできない人が存在していることが推察できる。

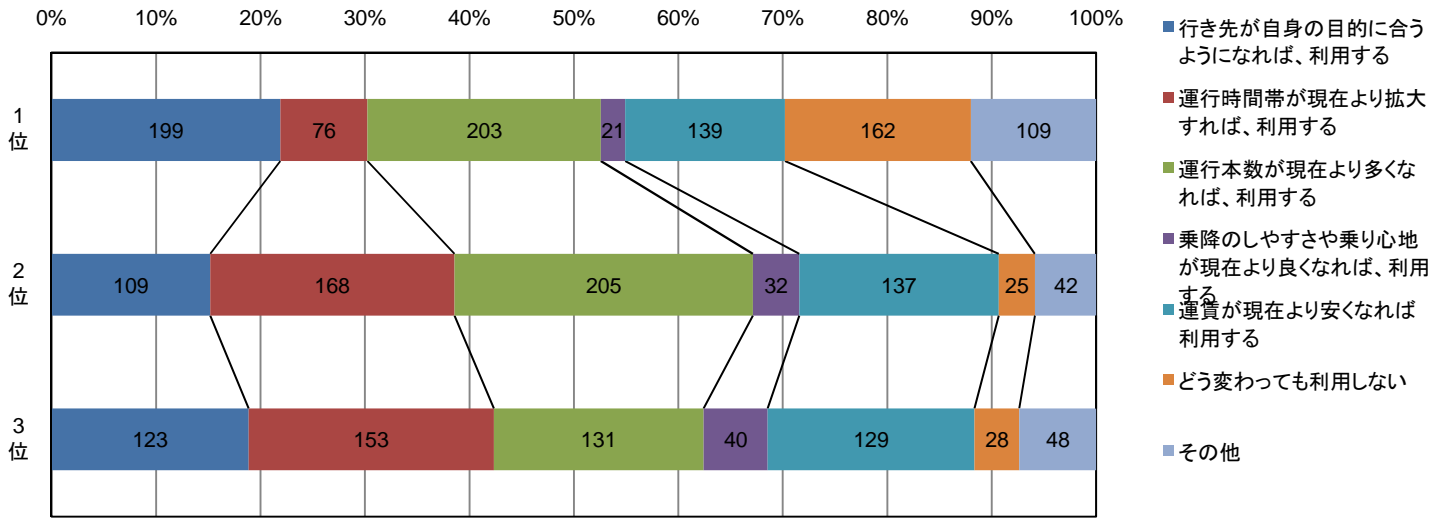
問2. 路線バスについてお尋ねします

どうすれば利用するか

1位 N=909

2位 N=718

3位 N=652

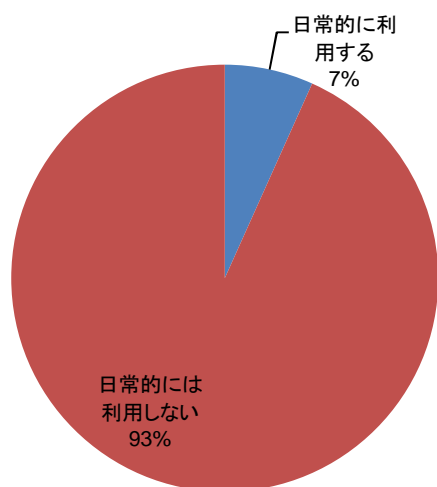


どうすればバスをもっと利用するか、上位3施策を選択してもらったところ、1位で最も多かったのは、運行本数が現在より多くなれば利用するという回答であった。次に行き先が自身の目的に合うようになれば利用するという回答が続く。一方、どう変わっても利用しないという回答も3番目に多い結果となった。2位・3位にはこれらに加え、運賃が安くなれば利用する、運行時間帯が現在より拡大すれば利用するという回答が目立つ。

問2. 路線バスについてお尋ねします 名古屋市営バスの利用について

日常的に利用するか

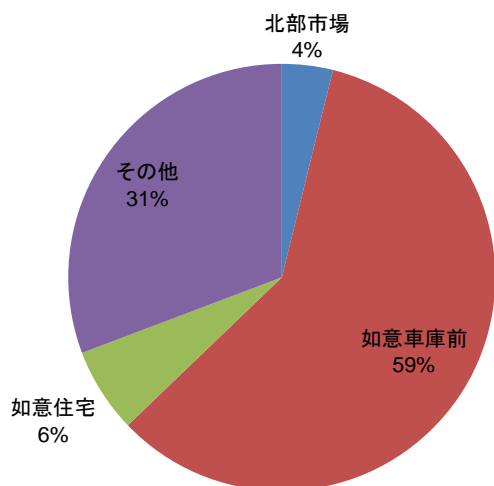
N= 1205



名古屋市営バス黒川11号系統については、日常的に利用すると回答した人は7%であった。

利用バス停

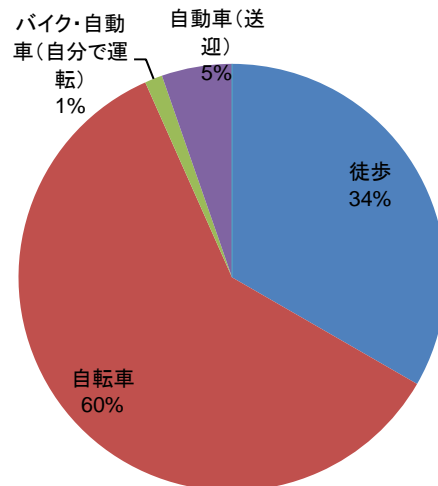
N= 78



日常的に利用すると回答した人のうち、59%が如意車庫前から乗車していることが分かる。

アクセス手段

N= 75

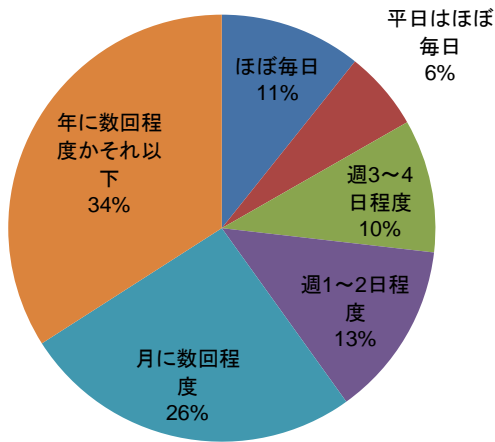


如意車庫バス停までのアクセス手段は自転車・徒歩が合わせて94%を占める。

問3. 徒歩での移動についてお尋ねします

頻度

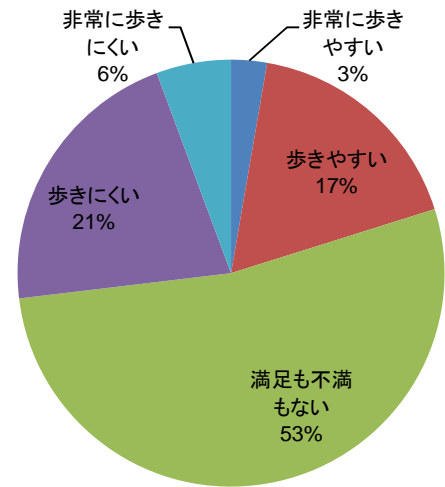
N= 1230



町内を歩いて移動する頻度は、年に数回程度かそれ以下が34%、月に数回程度が26%となっており、あまり町内を歩いて移動する頻度は高くないことが分かる。

満足度

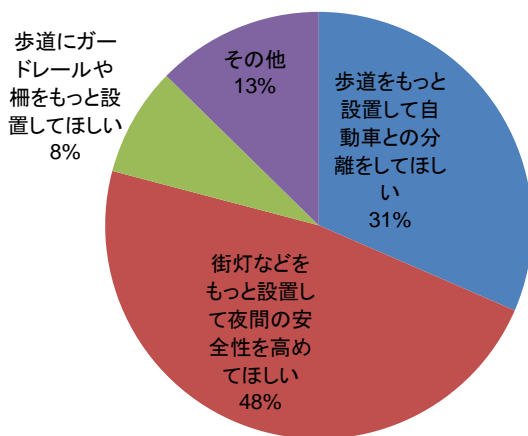
N= 1186



頻度が低いためか、満足も不満もないという回答が53%を占めているが、歩きやすいという回答よりも、歩きにくいという回答の方が上回っている。

要望

N= 1139

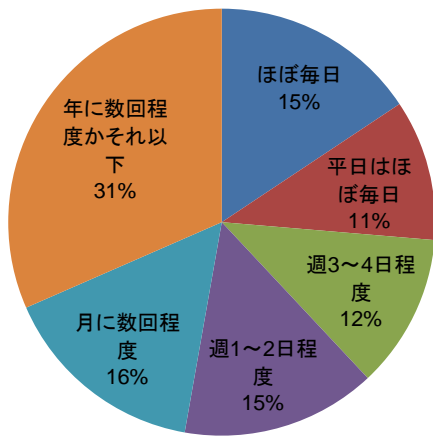


街灯などをもっと設置して夜間の安全性を高めたいという回答が48%で最も多く、次に歩道をもっと設置して自動車との分離をして欲しいという回答が31%で続いている。

問4. 自転車での移動についてお尋ねします

頻度

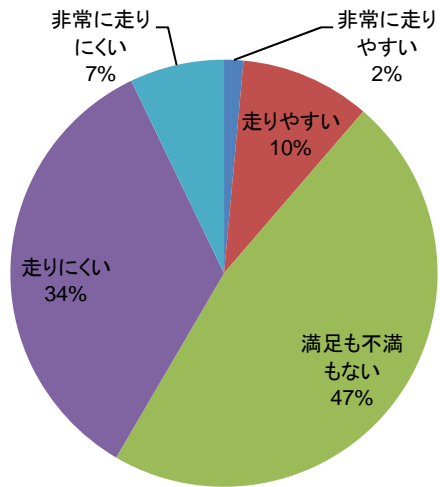
N= 1207



自転車による町内の移動は、年に数回程度かそれ以下という回答が最も多く31%、月に数回程度という回答が16%となっており、あまり町内を自転車で移動しないという人が多い。一方、ほぼ毎日・平日はほぼ毎日という回答が合わせて26%あり、日常的に自転車で町内を移動している人も多いことが分かる。

満足度

N= 1104

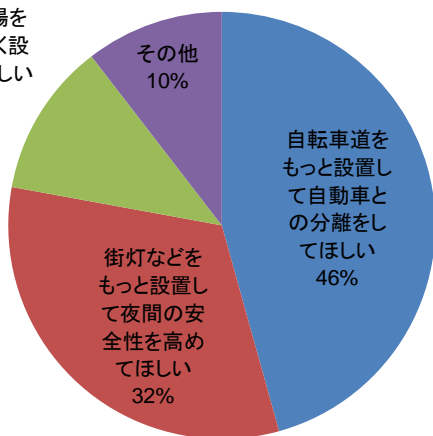


満足も不満もないという回答が47%で最も多いが、走りにくい・非常に走りにくいという回答が合わせて41%ある。その一方で、走りやすい・非常に走りやすいという回答は合わせても12%であり、自転車の走行環境に対する不満があることが推察される。

要望

N= 1053

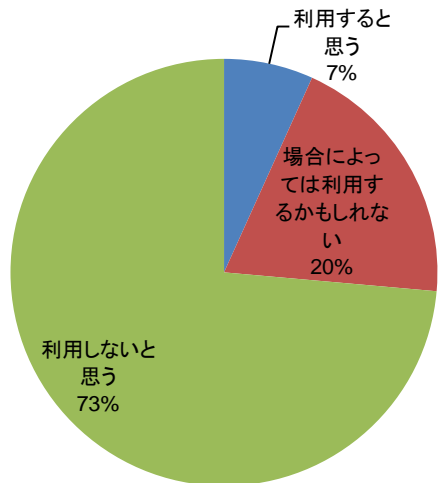
バス停周辺に駐輪場をもっと多く設置してほしい
12%



自転車道をもっと設置して自動車との分離をして欲しいという回答が46%、街灯などをもっと設置して夜間の安全性を高めたいという回答が32%となっており、安全面に対する要望が多い。

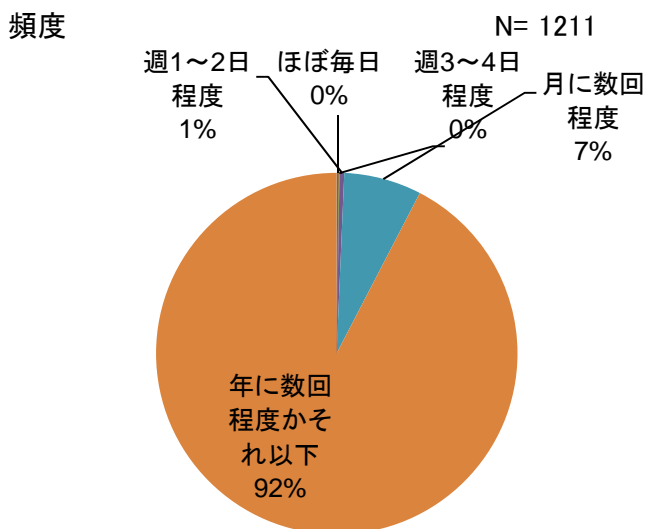
レンタサイクル利用意向

N= 1227

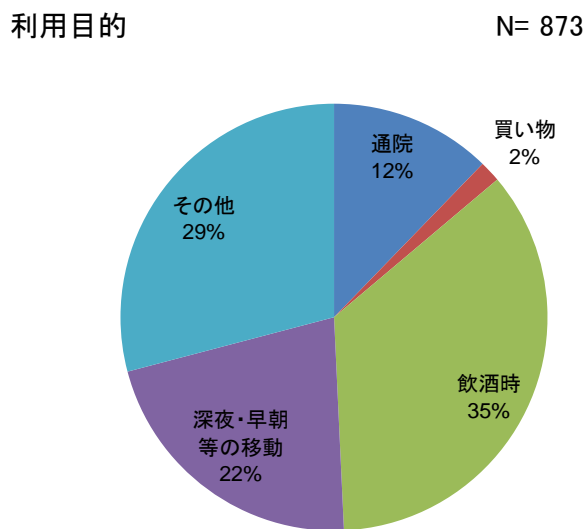


レンタサイクルについては73%の人が利用しないと思うと回答しており、狭い町域であることと、多くの家庭が自転車を所有していることから利用しないという回答が多かったものと推察される。

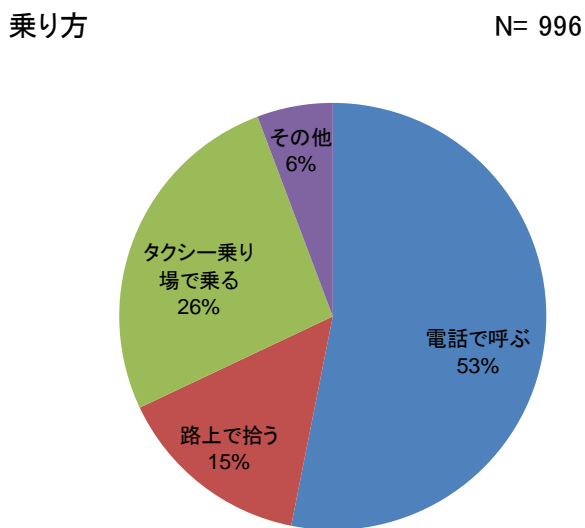
問5. タクシーの利用についてお尋ねします



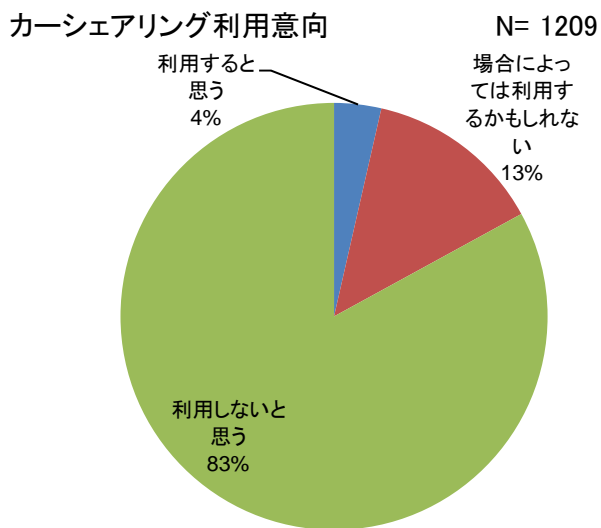
タクシーの利用は年に数回かそれ以下という回答が92%と圧倒的に多く、タクシーは日常的な生活の足としてはほとんど使われていないことが分かる。



タクシーの利用目的は、飲酒時が35%と最も多く、深夜・早朝等の移動が22%となっている。また、通院目的での利用は12%となっている。



タクシーに乗る際は、電話で呼ぶという回答が53%で最も多く、次いでタクシー乗り場で乗るという回答が26%となっている。

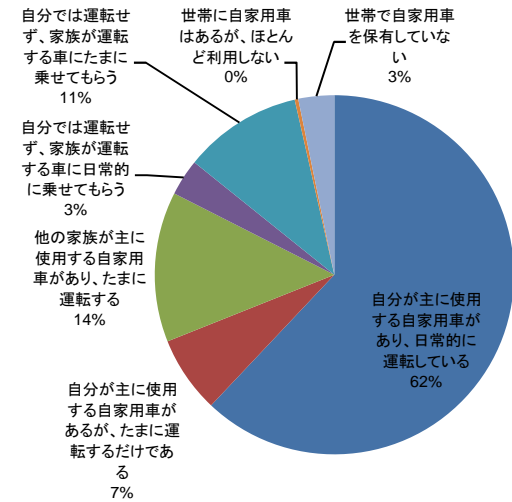


カーシェアリングの利用意向は、利用しないと思うという回答が83%を占めた。

問7. 自家用車の利用についてお尋ねします

保有状況

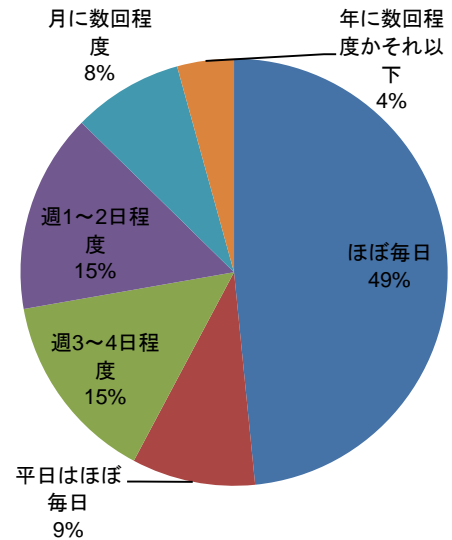
N= 1272



自分が主に使用する自家用車があり、日常的に運転しているという回答が62%を占め、その他も何らかのかたちで自家用車が使用できる環境にあるという回答が多い。世帯で自家用車を保有していないという回答は3%に過ぎない。

利用頻度

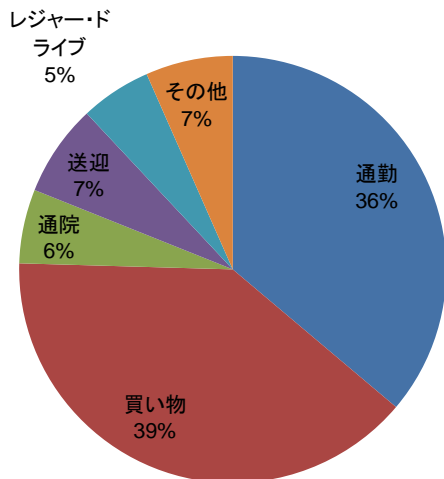
N= 1210



自家用車の利用頻度は、ほぼ毎日が49%、平日はほぼ毎日が9%であり、両者を併せると半分以上となり、日常的に自家用車による移動がなされていることが分かる。

利用目的

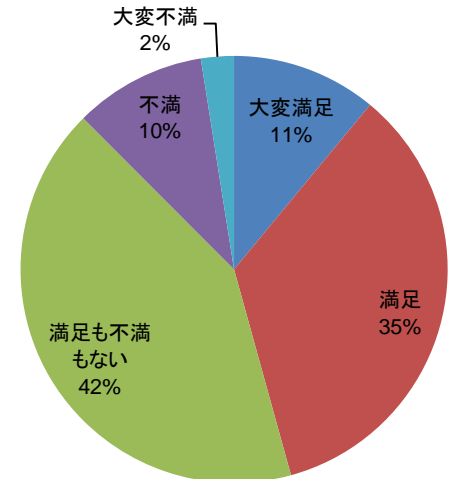
N= 1120



自家用車の利用目的は買い物が39%、通勤が36%となっており、日常反復の移動が自家用車によって行われていることが推察される。

満足度

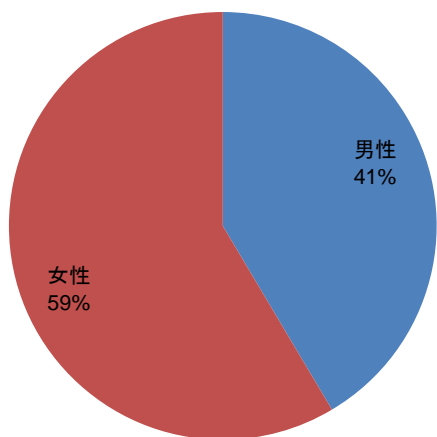
N= 1201



自家用車による移動については、満足が35%、大変満足が11%となっており、満足している人が多い。不満・大変不満は合わせても12%となっている。

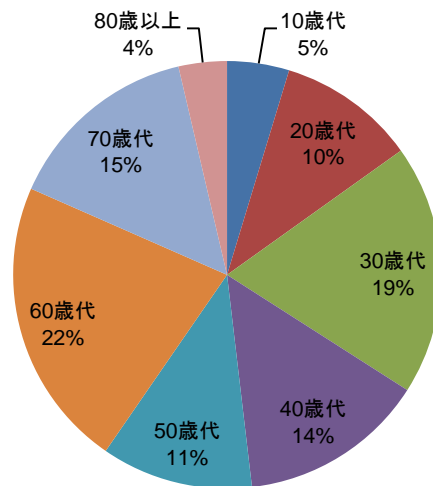
問8. あなた自身のことについてお尋ねします

性別 N= 1331



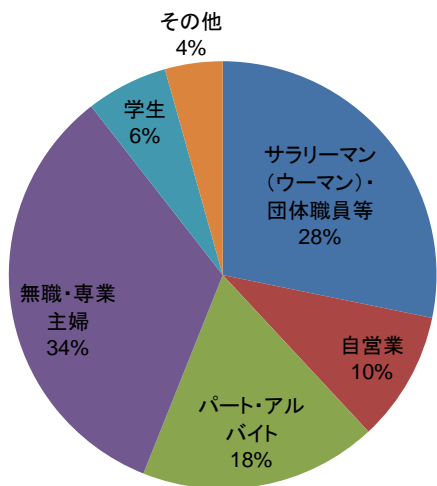
回答者の41%が男性、58%が女性であり、女性の回答者がやや多い結果となった。

年齢 N= 1342



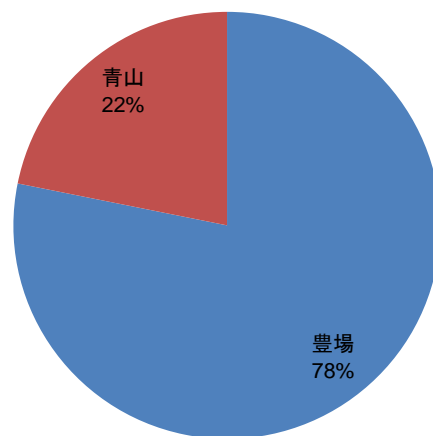
世代的には60歳代がやや多いものの、比較的各世代からまんべんなく回答を得ることができた。

職業 N= 1329



回答者の属性は、無職・専業主婦が34%と最も多く、続いてサラリーマン(ウーマン)・団体職員等の28%が続いている。

居住地 N= 1323



回答者の居住地は豊場が78%、青山が22%となっている。

